最新改訂：2011年 5月20日
印　　刷：2011年 5月20日

1．製品及び会社情報

製 品 名 ： TEXPEN（黒）

会 社 名 ： 株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ＆フルイズ ジャパン
住　所　： 大阪府吹田市江の木町30-32
担当部門： 品質管理部
電　話　： 06-6330-7118(代)
F A X ： 06-6330-7083

2．危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体		：区分３
急性毒性	経口	：区分外
	経皮	：分類できない
	吸入（気体）	：区分外
	吸入（蒸気）	：区分外
	吸入（粉塵およびミスト）	：区分外
皮膚刺激性／腐食性		：区分外
眼損傷性／刺激性		：区分外
呼吸器感作性		：分類できない
皮膚感作性		：分類できない
生殖細胞変異原性		：区分外
発がん性		：分類できない
生殖毒性		：区分１Ａ
授乳に関する影響		：分類できない
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）		：区分１（中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓）
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）		：区分１（呼吸器、神経系、肺） ：区分２（中枢神経系）
吸引性呼吸器有害性		：分類できない
水生環境有害性（急性）		：区分３
水生環境有害性（慢性）		：区分３

絵表示又はシンボル ：炎、健康有害性

注意喚起語 ：危険

危険有害性情報

- 引火性液体および蒸気
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- 臓器の障害（中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓）
- 長期または反復暴露による臓器の障害（呼吸器、神経系、肺）
- 長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系）
- 水生生物に有害
- 長期的影響により水生生物に有害

注意書き

- 火気注意
- 熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
- 火災の場合には、消火に、霧状の水、泡、ドライケミカル、二酸化炭素を使用すること。
- 火災を発生しない工具を使用すること。
- 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 静電気に敏感な物質を積みなおす場合は容器および受器を接地すること。
- 環境への放出を避けること。
- 漏出物を回収すること。
- 涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- この製品を使用する時に飲食や喫煙をしないこと。
- 取扱う際に、適切な保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
- 取扱後は手をよく洗うこと。
- 容器を密閉しておくこと。
- ガス／ミスト／蒸気の吸入をしないこと。
- 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 暴露した場合：医師に連絡すること。
- 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚(または毛)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類を全て取り除くこと。皮膚を流水もしくはシャワーで洗うこと。
- 内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3．組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物
化学名又は一般名 ： 油性塗料

化学品名	別名	含有量(%)※	CAS No.	官報公示整理番号	PRTR法
低沸点芳香族ﾅﾌｻ		20-30	64742-95-6	ー	ー
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ		1-10	1333-86-4	5-3328	ー
1,2,4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ		10	95-63-6	3-3427	第1種 第296号
ｷｼﾚﾝ		5	1330-20-7	3-3	第1種 第80号

※法規制のあるものについて記載

4．応急処置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移す。呼吸が止まっている場合は、人工呼吸を行う。呼吸が困難な場合は酸素吸入を行う。速やかに医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合： 直ちに大量の水で洗い流す。汚染した衣類や靴を脱ぐ。
目に入った場合： 直ちに大量の流水で15分以上洗浄する。速やかに眼科医の手当てを受けること。
飲み込んだ場合： 大量に飲み込んだ場合は、直ちに医療機関に連絡すること。無理に嘔吐を誘発させない。被災者に意識のない場合は口から何も与えてはならない。

5．火災時の措置

消火剤： 霧状の水、泡、ドライケミカル、二酸化炭素
使ってはならない消火剤：

火災時の特有の危険有害性： 蒸気は空気より重いため、地面に沿って、あるいは通気設備を通って移動し、着火源に触れて発火するおそれがある。

特定の消火方法： 霧状の水で容器を冷やし、圧力を下げる。排水が下水や側溝に流れ込まないようにする。漏出が起きた場合は関係当局に通知する。

消火を行う者の保護： 全面防護装備（フェイスガード付きヘルメット、耐熱服、ゴム製長靴等）、自給式の呼吸装備を着用せずに火災区域に入らないこと。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

保護具を着用していない人を付近から避難させる。

環境に対する注意事項：

下水や排水溝への流入を防ぐ。河川等に排出され環境への影響を起こさないように注意する。
流出が起きた場合は、関係当局に通知する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

少量の漏出の場合は難燃性の吸着材に吸着させ、密閉容器に回収する。大量に漏出した場合、器具類は火花を防ぐために接地する。ポンプ等で汲み上げ、回収できない物は吸着材等に吸着させる。吸着材、汚染された土等は密閉容器に回収し、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

二次災害の防止策：

付近の着火源となる物を取り除き、安全に行える場合は流れを止める。

7．取り扱い及び保管上の注意

取扱い　技術的対策： 取り扱う際は使用上の注意に従うこと。ラベルの注意書きに従うこと。
空容器には蒸気や液体が残っているので、圧縮、切断、溶接、蝋付け、はんだ付け、ドリルによる穴あけ、グラインダーかけをしないこと。高温、火花、直火等の着火源から遠ざける。

注意事項： 高温の有機化合物の蒸気やミストは、空気と混合すると突発的な自然発火を起こしやすいので、文献に記載されている自然発火温度以下でも発火する場合がある。発火温度は蒸気量の増加、蒸気と空気の接触時間の増加、圧力変化の影響を受ける。有機化合物の蒸気の発火は、著しい温度の上昇過程、特に真空下で急激な空気の介入があったり、高温下での外部機器操作過程で、蒸気やミストの急激な漏出があった場合に起こる可能性がある。高温下でこの製品を使用する場合は、安全な作業条件の確立、維持を完全に行うこと。

保管　適切な保管条件： 高温、火花、直火から遠ざけて保管する。子供の手の届かない場所に保管する。使用時外は容器の蓋を密閉し保管する。換気のよい冷暗所に、混触禁止物質から離して保管する。この製品安全データシートはペン、マーカーに使用されているインクに対する記述である。後ろのゴムキャップを開けると、インクが漏れるおそれがあるので開けないでください。

安全な容器包装材料：現行容器のまま保管

8．曝露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置は通常必要ないが、過度な暴露が考えられる場合は適切な換気を行う。

保護具： 許容暴露限界を超える場合はマスクを着用する。通常は必要ないが、眼への直接の接触が考えられる場合は、保護眼鏡を着用する。インクへの直接の接触が起こるおそれがある場合は、前掛け、長靴、保護面等、適切な保護具を着用する。ラベルの注意書きに従うこと。使用後、飲食および喫煙、休憩室使用の前等に手を洗う。

9．物理的及び化学的性質

外観　　形状：粘性のある液状
色：不透明黒色
臭い　　：芳香臭
pH：N/A
融点／凝固点：N/A
沸点、初留点と沸騰範囲：159-170℃
引火点：42.2℃
自然発火温度（発火点）：N/A
燃焼又は爆発範囲の上限／下限：上限12.3%　下限1.9%
蒸気圧（mmHg）：N/A
蒸気密度（空気＝1）：＞1
比重：＞1
溶解性：水には殆ど溶けない
分解温度：N/A

10．安定性及び反応性

安定性：安定。

危険有害反応可能性：危険有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件：　高温、火花及び直火、混触禁止物質。

混触禁止物質：　強酸化剤および強還元剤 。強アルカリ及び強酸。

危険有害な分解生成物：　一酸化炭素、二酸化炭素、煙、煤煙や様々な有機酸化物。

11．有害性情報

急性毒性　経口： LD_{50}(ﾗｯﾄ)； 12,031mg/kg
吸入： LC_{50}(ﾗｯﾄ)； ＞50,000mg/L(気体)、145.4mg/L（蒸気）、＞12.5mg/L（粉塵およびミスト）
経皮： LC_{50}(ｳｻｷﾞ)；N/A

皮膚腐食性／刺激性：
弱い刺激性がある。

呼吸器感作性／皮膚感作性：
高濃度の蒸気を吸入すると、呼吸器官を刺激し、めまい、頭痛や吐き気を引き起こす場合がある。繰り返し、または長期間接触することで、皮膚感作や皮膚炎を起こす場合がある。

眼に対する重篤な損傷／刺激性：
中度の刺激性がある。（液状成分）

経口毒性：
液状成分を飲み込んだ場合、嘔吐を誘発するおそれがある。本製品を意図的に、繰り返しあるいは長期に渡る吸引をする事により、脳や神経系への不可逆的な損傷が起きるおそれがある。

12．環境影響情報

急性水生毒性：区分３
慢性水生毒性：区分３
残留性／分解性：混合物としてデータなし
生体蓄積性：混合物としてデータなし

13. 廃棄上の注意

「7.取扱い及び保管上の注意」の記載事項による。
廃棄は焼却により行うが、その方法は次のいずれかによる。

・焼却炉の火室へ投げ込み焼却する。
・都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制 陸上（RID/ADR）： 法令の基準に従い積載、運送を行う。
海上（IMDGｺｰﾄﾞ）： 法令の基準に従い積載、運送を行う。
航空（ICAO-TI/IATA-DGR）： 法令の基準に従い積載、運送を行う。

国連分類：3
国連番号：1263
容器等級：III

15.適用法令

消防法 ：危険物第 4 類第 2 石油類（非水溶性）
労安法 有機則 ：第 3 種有機溶剤等
通知物質 ：法第 57 条の 2 施行令第 18 条の 2 別表 9（330 石油ﾅﾌｻ、404 ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、130 ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ、136 ｷｼﾚﾝ）
表示物質 ：法第 57 条の 1、施行令第 18 条（7 の 2 ｷｼﾚﾝ）
航空法 ：引火性液体類(ｷｼﾚﾝ)
船舶安全法（危規則）：引火性液体類(ｷｼﾚﾝ)
港則法 ：危険物・引火性液体類(石油ﾅﾌｻ、ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｷｼﾚﾝ)
海防法 ：有害液体物質 X 類(ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ)、Y 類物質（ｷｼﾚﾝ）
ＰＲＴＲ法 ：第 1 種指定化学物質 第 80 号 ｷｼﾚﾝ
第 1 種指定化学物質 第 296 号 1,2,4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ

16.その他

本製品に関する有害性等の文献はありません。従って、その評価は原料メーカーからの資料を基に安全に取り扱う為の留意点としてまとめたものであり、データーは充分ではありませんので、取扱には充分ご注意をお願い致します。

参考文献 ：法規制物質リスト（日本ケミカルデータベース）
：ケミカルデータベース（日本ケミカルデータベース）